

21年1～3月の化粧品輸入実績
前年同期比0.7%増の652億円

日本輸入化粧品協会がまとめた2021年1～3月の化粧品輸入額は、前年同期比0.7%増の652億7000万円となった。国別では韓国(20.1%増)が依然として好調で、国別シェアも前年同期と比べ18.2%から21.7%へと3.5Pアップし、首位のフランス(23.5%)に迫っている。

香水・オーデコロン類は43億9000万円(33.0%減)となった。このカテゴリで65.5%と圧倒的なシェアを誇るフランスが28億8000万円(21.6%減)と0.0万円(52.7%減)ア



株式会社tilde(チルダ)取締役 化粧品事業部長

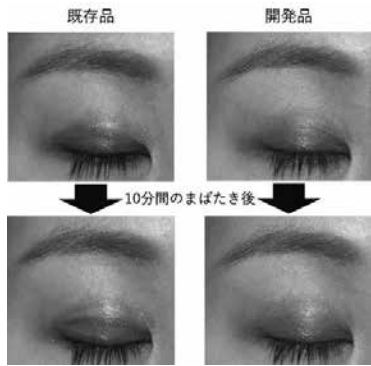
鈴木 礼子 氏



第21回SCCJ優秀論文表彰で「最優秀論文賞」を受賞

コーセー

コーセーは、各年にSCCJジャーナルに掲載された論文の中で特に優秀なものを表彰する「日本化粧品技術者会(SCCJ)優秀論文表彰(第21回)」にて、「2020年度最優秀論文賞」を受賞した。最優秀論文賞については、7月15日に開催されるSCCJ研究討論会(オンライン開催)にて受賞講演を予定している。



まぶたに対するアイシャドウの化粧持ち比較

減)、中国2億2000万円(14.3%増)と続いた。スキンケア類は229億6000万円(3.6%増)で、フランス72億4000万円(3.7%増)を占めた。頭髪用化粧品類は11000万円(67.6%増)と大幅に伸長した。主要国以外の実績は75億円(4.6%増)で全体の63.0%を占めた。

「2019年度優秀論文賞」を受賞した。最優秀論文賞については、7月15日に開催されるSCCJ研究討論会(オンライン開催)にて受賞講演を予定している。2020年度最優秀論文賞の論文タイトルは「瞬(まぶた)の動きと加齢変化に対応した高ツヤや高弾性アイシャドウの開発」で、萩野亮氏(第一著者)、渡邊梨奈氏、増渕祐二氏、奥山雅樹氏、山下美香氏が共同で執筆した。

にしっかりと届くようなブランドづくりを目的としている。フツの商品ラインナップは、防腐抗菌成分にローズマリー葉エキ

とき、サステナブルで自然に寄り添うヴィーガンの考えを取り入れた『未来につながる化粧品』を適正価格で提供したいという想いが募り、こうした考え方に共感してもらえる人

100%植物由来成分のヴィーガン
コスメブランド「futu:」を発売

2018年の設立で、マーケティングコ

ブランドマネージャーを務める鈴木氏は、過去にプログラマーと

「娘がもうすぐ3歳になり、一児の母として自分の子どもが生活していく未来を考えた

今回の受賞は、同社メーカーアップ製品における技術や研究水準の高さを示すものであり、商品開発に応用していく。今後も科学的な視点に基づいた機能性の追求と、新たな価値提供を目指した研究開発活動を進めていく。